

第23回企画展

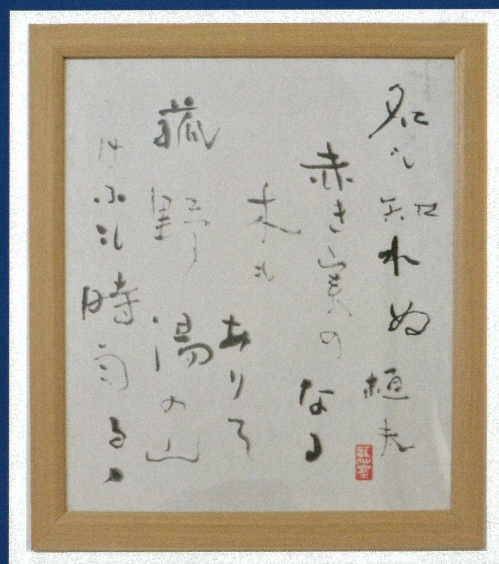
大阪住吉を愛した小説家

藤澤桓夫展

開催日：2023年 10月29日(日)・11月26日(日)・12月24日(日)

入館料：200円(中学生以下無料) 開館時間：10:00～16:00

場所：塩江町歴史資料館



藤澤桓夫 (ふじさわ たけお)

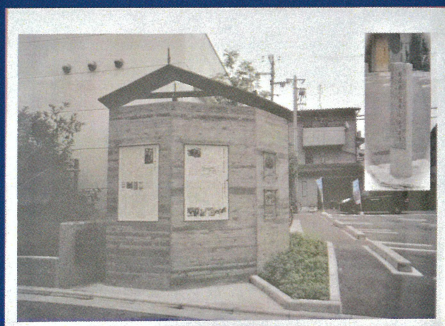
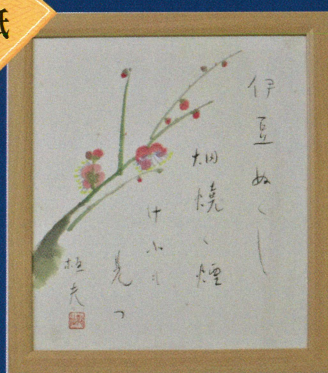
色紙

掛け軸

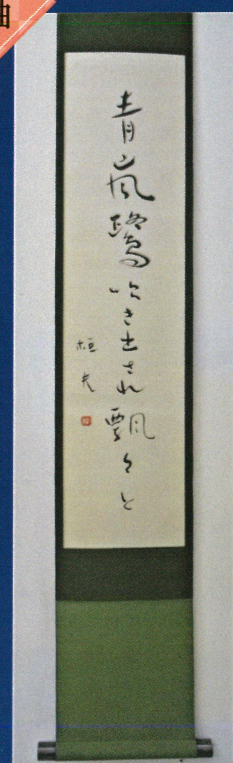
明治37年(1904) - 平成元年(1989)

日本の小説家。大阪市生まれ。藤澤南岳の孫で黄城の長男。旧制大阪高校在学中に武田麟太郎(三高)・長沖一・神崎清らとともに同人誌『辻馬車』を発刊、1925年同誌に発表した「首」でデビューし新感覚派として目された。1927年大阪高校を卒業し東京帝国大学に入学、在学中は新人会で活動しプロレタリア文学に転向、1930年『傷だらけの歌』を書く。1931年文学部国文科を卒業したのち大阪に帰り、1936年『花粉』、1941年-1942年の『新雪』で新聞小説家として復帰。その後、大衆・流行作家として数多くの小説を書き、晩年まで関西文壇の長老として活動を続けた。将棋通としても有名。

本展では、収蔵品展及び、桓夫の友人たち、桓夫と司馬遼太郎、著作目録、装幀集、映画化された作品とポスターなどを紹介します。



「西華山房」跡顕彰碑(住吉区)



主催：塩江町歴史資料館

〒761-1502 高松市塩江町安原下第2号1684

お問合せ

Mail fujisawa900@yahoo.co.jp

HP 塩江町歴史資料館

